

令和4年度

自己評価報告書の概要

令和5年6月8日

武蔵野栄養専門学校

令和 5 年 6 月 8 日

令和 4 年度 学校関係者評価報告書

学校法人後藤学園
武蔵野栄養専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人後藤学園武蔵野栄養専門学校「学校関係者評価委員会」は、令和 4 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告致します。

1. 学校関係者評価委員（「武蔵野栄養専門学校 学校評価要綱」による選出）

- ・学校の専門分野における業界関係者（同第 5 条第 2 項第 1 号）

益子 純子 氏 株式会社 藤江 代表取締役

- ・卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

藤澤 弘之 氏 東都給食 株式会社 代表取締役社長

- ・卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

飯島 敬子 氏 元東京都栄養教諭第 1 期生 管理栄養士

- ・高等学校校長、進路指導担当者等（同第 5 条第 2 項第 3 号）

関山 勝之 氏 東京都立 葛西南高等学校 校長

• 基準1 教育理念・目的・育成人材像

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	④	3	2	1
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④	3	2	1
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

適切である。教職員共通理解を持って運営できている。

改善策

今後も質の高い栄養士を輩出すべく教育活動に取り組んでいく。

• 基準2 学校運営

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
2-2-1	理念に沿った運営方針を定めているか	4	③	2	1
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	④	3	2	1
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	③	2	1
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4	③	2	1
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	③	2	1
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

運営方針、事業計画は適切である。「ほぼ適切」については経営改善計画の実施により「適切」への改善につながるよう進めていただきたい。
各プロジェクトチームで毎年積極的に取り組んでいる。もう少し評価が高くてもよいのではないかと。また、万が一の対応機関として危機管理委員会の設置を検討したらどうか。

改善策

- 経営改善計画の初年度として戦略領域ごとに取り組んだが、完全とは言えず令和8年まで計画的に実行していく必要がある。(令和5年度からはNEXTSTEPプロジェクトとして経営改善に取り組んでいく。)
- 現在、危機管理委員会が組織化されておらず、その都度対応しているため、今後は学園として危機管理体制の構築や危機管理意識を高めるための教育訓練等を検討していく。

• 基準3 教育活動

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	③	2	1
3-9-2	教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	③	2	1
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	③	2	1
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	③	2	1
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	④	3	2	1
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	③	2	1
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
3-12-2	教員の資質向上への取組を行っているか	4	③	2	1
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

資格・要件を備えた教員の確保と特記事項にある多様化する栄養士のニーズに応える授業の展開と教育の質の向上については是非継続していただき、栄養士の資格取得に向けてご指導をお願いしたい。

改善策

- ICT教育に向けたWi-Fi環境の準備を整えたが、学生に対する金銭的負担を考慮しパソコンの義務づけを見合わせた。都立高校では令和5年度からタブレット端末の所有が義務化されたため、2年後の新生入学時を目標にICT教育に向けた教職員の育成が必須となる。
- 教育をより充実させることを優先課題とし、学力不足の学生に対しての基礎学力演習、さらには栄養士実力認定試験対策講座1・2、献立作成能力の向上など栄養士としての資質の向上につながるよう取り組み、資格取得に向けた指導を継続していく。

• 基準4 学修成果

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

専門人材育成訓練生の指導に苦勞されているだろうが、武蔵野栄養専門学校を卒業した栄養士とは働きやすかった。今後も学生がより積極的に授業に取り組める実践的な職業教育により栄養士の仕事の魅力を直に伝える授業を進めていただきたい。
Googleclassroom を利用した卒業生管理が本格的に行えている点が評価できる。

改善策

- 専門人材訓練の受託校として、今後も多くの訓練生を迎えることで就職率 100%が厳しい状況となる。しかし、担任と就職担当職員との連携の下、個々としっかり向き合い教育することで社会に適合する人材の育成を行っていく。また、前年度実績を上回ることを目標に、就職率や就職指導目標を定め、学生満足度を高めていく必要がある。
- 令和 2 年度から卒業生の就職先等の現状把握について Googleclassroom を利用しているが、令和 4 年度は学園祭が行われ、来校した卒業生からの情報収集を行った。今後一人でも多くの卒業生情報を収集するためにホームページへの掲載や同窓会の組織化等を検討し現状把握に努める。

・ 基準5 学生支援

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	④	3	2	1
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	④	3	2	1
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	3	②	1
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	3	②	1
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	③	2	1
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4	③	2	1
5-21-2	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	②	1
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員からのご意見等

退学率や奨学金の受給率においては厳しい数値が出ているが、よく支援していただいている。1年生の退学率の多さに驚いたが、原因が理解できた。1年生を乗り切るという点についてご苦労されていると感じる。今は社会性があまり身につかずに入學してくる学生も多い。仮に退学せずに卒業をしたとしても社会で仕事を続けることは難しかったのではないかと。卒業生の支援としての「管理栄養士国家試験受験準備講座」は社会人として経験した後に資格取得の意識が高くなることから引き続き今度も継続をお願いしたい。

改善策

- ・ 学生の生活態度の変化にいち早く気づき、心や生活・学習面でのサポートを行い栄養士という職種に興味や理解を持たせるような指導を継続していく。また、必要に応じてスクールカウンセラーと連携しながら退学率の減少に繋がるように学生のケアを行なっていく。
- ・ 現場で活躍している卒業生の中には、新しい情報を得られない環境で働いている人も多いため、管理栄養士国家試験対策講座を開催すると共に、一人でも多くの卒業生に受講してもらうために在学中から管理栄養士の必要性など意識付けし、管理栄養士として活躍する栄養士を輩出できるよう努める。

• 基準6 教育環境

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	③	2	1
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

学外実習での学生はその学校の評価となってしまう、その後受け入れてもらえなくなることもある。事前指導を担当される職員は苦勞されているだろう。様々な学生がいる中で多種多様な実習先を開拓するのは大変であるが、全員が体験できるような環境を整え、実習したことにより社会での在り方などについて学んでいただきたい。

改善策

校外実習では、実習先企業等に迷惑が掛からないよう事前指導を行っているが、多種多様な学生がいる現状においては十分とは言えず課題となっている。礼儀やモラルについては入学時からしっかり指導することが課題である。令和5年度からは病院・保育園・事業所等教員をチーム分けして担当をし、より細かな指導を行っていくと同時に、学生の希望に合った実習先の新規開拓も同時に実施するよう努める。

• 基準7 学生の募集と受入れ

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
7-25-2	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	④	3	2	1
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	③	2	1
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	③	2	1
7-27-2	入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

適切な情報公開、情報発信がなされている。ホームページを拝見すると、生き生きとした学生の様子が伝わってくると同時に、給食を通してバランスのよい食事について発信できている点も良い。入学者目標数達成に向けて「さらなる魅力ある学校づくり」をお願いしたい。学納金については食材料や光熱費の高騰もあり厳しいと思うが、何とか乗り切っていただきたい。

改善策

- 今後も入学希望者や卒業生に対して、必要な情報を見やすく理解しやすい媒体となるよう学校案内書やホームページ等を改善していく。また、SNS を効果的に利用して魅力ある内容を取り入れるよう努める。
- 奨学金や学校として可能な支援を実施することで入学者のサポートを継続していく。また、物価高騰による学納金値上げを余儀なくされたが、食材購入時の選定、光熱費の節約等、教職員一人一人が留意する。

• 基準8 財務

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	3	②	1
8-28-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	③	2	1
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	③	2	1
8-29-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

栄養専門学校だけではなく学園全体での評価となる。ご苦勞も多いと思うが、入学者目標数達成に向けて、益々の「魅力ある学校づくり」に期待している。

改善策

18歳人口の減少や物価高騰等、専修学校を取り巻く環境諸条件はますます厳しいものとなりつつある。かかる状況下で財政を健全化させていくためには、収入に見合った人件費や諸経費などの経常的支出と、将来を見据えた設備投資のバランスを考慮し取り組んでいく必要がある。武蔵野栄養専門学校は黒字収支であるが、学園全体としてはマイナスになるため、経営改善に取り組んでいく。

• 基準9 法令等の遵守

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	③	2	1
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

適切である。個人情報保護に関して学校側でプライバシーマークの取得を考えてみるのはどうか。個人情報保護に真剣に取り組んでいる目印となる。

改善策

- 日頃から発送物宛先のダブルチェックや注意喚起等を行っており、年度末には個人情報研修を実施している。今後はプライバシーマークの取得について検討をしていく。
- 学生への SNS 利用時の個人情報取り扱いについての教育を引き続き実施していく。

・ 基準 10 社会貢献・地域貢献

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	4	3	②	1
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っている	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

コロナも落ち着いてきたので、推進していただきたい。栄養士が行う社会貢献活動は「栄養と健康のつながり」や「料理を作る楽しさ」等を伝えることができる。また、参加した学生は地域への食育活動を実体験として学ぶこともできる。地域や行政、産業界との連携は、今後も重要な取り組みの一つとして力を入れていただきたい。

豊島区生涯スポーツ推進事業シニア世代の食育講習会は今後も継続をお願いしたい。

改善策

コロナ禍に伴い中断していたが、令和 4 年度から一部が再開した。今後は以前と同様の受け入れを行っていく。